



第 2530 地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高橋 智 弘
幹事 相澤 隆

奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲 男
会報写真担当 宮崎 秀 剛

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和 4 年 6 月 13 日(月) 第 33 回 通算第 1627 回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町 2-5 福島銀行本店内 9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第33回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高橋 智 弘 会長
- ◇ロータリーソング「我等の生業」
- ◇ソングリーダー 西形 健 吉 会員
- ◇会長あいさつ 高橋 智 弘 会長

皆さん、こんにちは。今日は第33回例会で通常例会としては、今年度最後の例会となりました。この後、1年を振り返ってのスピーチをさせていただきます。さて、先週金曜日に2021-22年度、2022-23年度会長・幹事会が開催されました。2021-22年度につきましては、分区行事の収支報告など1年間のまとめでした。やはり当クラブがホストクラブとして開催される予定だった分区行事のガバナー歓迎晩餐会がコロナ禍においてできなかったことが、心残りであり大変残念だったということをお知らせしました。また、マイロータリー登録率は5月31日現在、86.96%であります。100%まであと少しですのでご協力をお願いします。ロータリー賞への取り組みも、県北第1分区7クラブはすべてクリアで、当クラブは5月25日時点で、目標17に対して15クリアしています。皆さんのご協力ありがとうございました。2022-23年度も引き続きよろしくお願いいたします。

◇幹事報告 相澤 隆 幹事

- ◇例会変更のお知らせ
- ・次週20日の例会は理事会承認休会(4回目)となります。また、翌週27日の例会は午後6時半からエルティにて「新旧役員歓送迎夜間例会」となりますのでご注意ください。
- ◇その他のお知らせ
- ・本日午後2時より、県北保健福祉事務所にて「麻薬撲滅防止運動基金贈呈」を行います。高橋会長、相澤幹事、佐藤社会奉仕委員長が出席いたします。
- ・6月18日(土)地区事務局研修が会津若松ワシントンホテルにて開催されます。小澤事務局員が出席いたします。

福島地区薬物乱用防止指導員協議会へ寄付
6月13日(月)に福島地区薬物乱用防止指導員協議会へ50,000円寄付させていただきました。



(左): 福島西ロータリークラブ会長 高橋智弘
(右): 福島地区薬物乱用防止指導員協議会副会長 佐藤豊子様
出席者: 佐藤宗弘ガバナー補佐・高橋智弘会長・相澤隆幹事・佐藤卓立社会奉仕委員長

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲 男 委員長
- 高橋智弘会長=長かったような、短かったような1年でした。今日は1年を振り返ってとりとめもない話

をさせていただきます。
○相澤 隆幹事=本日、1年を振り返ってのスピーチをさせていただきます。よろしくお願いいたします。
○梅津誠一会員=福島西ロータリークラブへ入会させていただきます、ありがとうございます。理念に基づき頑張って参ります。
○久米允彦会員=高橋会長、相澤幹事、1年間コロナ禍のご苦労さまでした。
○齋藤武二会員=会長、幹事様、ご苦労さまでした。
○宮崎秀剛会員=本日もよろしくお願いいたします。
——— 会長・幹事スピーチによせて ———
○石川淳一会員 ○大平諄一郎会員 ○黒澤信之会員
○佐藤宗弘会員 ○佐藤卓立会員 ○野尻榮一会員
○高梨哲男会員

本日のスマイリングBOX集計13件 29,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——会長・幹事スピーチ
「1年を振り返って」

○相澤隆幹事スピーチ



1年を振り返っての幹事スピーチをさせていただきます。今年度の例会も今日を含めてあと2回となりました。何とか務め終えることができましたのは会員の皆様のご指導・ご助力があつてこそと、心から感謝いたします。会長スピーチの時間が十分に確保できますよう、簡潔

にお話をさせていただきたいと存じます。高橋会長年度は「参加しよう！例会に、楽しもう！例会を」もスローガンの下、「例会出席率の向上と活性化と会員増強」など4つの目標を設定して各種事業を進めてまいりました。

1年間の活動を振り返ってみますと、まず何と申しましても当クラブの最重点事業であります「少年野球大会」が2年ぶりに無事に開催できまして、本当にうれしく思っております。開催時期はオリンピックの影響で11月にずれ込んでしまいましたが、大会役員をはじめ会員の皆様のご協力をいただきながら、何とか成功裏に終了することができました。

一方、コロナウイルスの影響で、例年実施しておりました納涼夜間例会、競馬場への職場訪問例会、創立38周年記念夜間例会、麻薬撲滅キャンペーンなど、中止や規模縮小を余儀なくされた事業もございました。また、地区の事業や分区の事業におきましても、地区大会が規模縮小となってしまったほか、ガバナー歓迎晩餐会も残念ながら中止となってしまいました。

最近ではwithコロナが定着し始め、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒や換気の励行といった対策を講じながら開催するケースが増えてきておりますが、やはり対面でのコミュニケーションに勝るものではありません。早期の収束を願うばかりです。

なお、私事ではありますが今年6月で勤め先を退職することになり、ロータリー会員の席も次年度から後輩にバトンタッチすることになりました。平成28年1月から6年半の間、例会やさまざまな活動を通して、ロータリーの精神を楽しく学ばせていただきました。

「入りて学び 出でて奉仕せよ(原文はEnter to learn,

go forth to serve)」。これは1947年、ケンドリック・ガーンジー会長の時のRIテーマです。私もロータリーからは離れることになりましたが、皆さんに教えていただいた奉仕の精神を忘れず、自分にできる範囲で社会貢献をしていきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

○高橋智弘会長スピーチ



長いようで短かった1年、短いようで長かった1年がもうすぐ終わりを迎えようとしています。改めて、本年度福島西ロータリークラブの会長を仰せつかりました、高橋智弘です。

最終の通常例会にちなみ、1年間を振り返りスピーチをさせていただきます。歴代会長の中

で1番頼りない会長だったかもしれません。皆さんに助けていただいたおかげで、何とか1年でできたようなものです。また、黒澤信之直前会長の年度から続くコロナウイルスの蔓延にさらされる中、活動をどのようにしていけばいいのか、どこまで活動していいのか、皆さんの健康を第1に考えながら活動していくには、なかなか答えが見つからず、手探り状態でした。

私が掲げたテーマは「参加しよう！例会に、楽しもう！例会を」でしたが、思うように行かない1年でした。しかしその中でも楽しくできた行事を振り返ってみたいと思います。

新しい年度になって早々に県北第1分区のスポGOMI大会が開催され、当クラブからは佐藤宗弘ガバナー補佐はじめ6名での参加でしたが、そこにうれしいことに黒澤分区幹事のご子息が飛び入り参加してくれて、とても場が和み、雨降る中でしたが、とても楽しい1日だったと思います。その後6月26日にはガバナー公式訪問がありバタバタと最初の1ヶ月は過ぎたような気がします。8月に入り恒例の西口駅前清掃早朝例会でしたが、このころから雲行きが怪しくなり、黒澤年度でも苦労したコロナに振り回されることとなりました。お盆明けには、ガバナー補佐訪問もZoomで行わせていただき、補佐にも大変ご迷惑をおかけしたような気がします。また、福島西ロータリークラブにとって節目の第1600回例会も夜間例会で楽しく祝おうと思っておりましたが、ちょっとだけ豪勢なお弁当とスパークリングワインだけになってしまいました。ただ、急遽お願いした西形健吉パスト会長に西クラブの創設当時のスピーチをしていただき、知らなかったことなどいろいろ聞けてとても良かったです。このころに財団補助金を使っての事業として、市内2校のマーチングバンドクラブに楽器の寄贈をさせていただきました。私が唐突に出した企画でしたが、理事役員の皆様にご理解をいただき寄贈する事ができました。今回限りにしないためにも、何かの機会に演奏していただくなど、これからも関わりを持ち続けていきたいと思っています。

10月ごろから感染者数が減り始め、10月25日には私の年度では初めての夜間例会が、新蕎麦を食する会として峰亀様で開催され、久々のお酒がはいつての例会だったので、とても楽しかったと記憶しています。残念ながらこの後の地区大会はいわきで行われましたが、会長と幹事のみの出席で、あとはYouTube配信でした。また、当クラブがホストクラブでしたガバナー歓迎晩餐会も中止となり、準備を始めた皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

そして、我がクラブ最大の事業である第24回少年野球大会であります。コロナで昨年は中止になり、2年ぶりに待ちに待った大会でした。私の不手際から11月23日の1日だけになってしまったので大変申し訳ありませんでした。それでも、久米允彦委員長をはじめ佐藤卓立社会奉仕委員長、黒澤信之競技委員長に助けていただき、たった4校ではありましたが、3試合とも見ごたえのある試合ばかりだったと思います。また今年はその後の二本松ロータリークラブ様との親善試合で大いに盛り上がりました。あのあづま球場の電光掲示板に名前が載り数々の迷プレーが生まれ、雨の中

ではありましたが、スコアは別として思い出に残る試合でした。この試合のために、黒澤監督があづま球場の室内練習場を借りてくれて、みんなで練習をしたことも、ロータリアンの親睦につながり、とても有意義でした。またこのことから野球部の再開へとつながり、福島西ロータリークラブの魅力がまた1つ増えたような気がします。特に監督兼エースの黒澤会員には練習から試合と、さらに野球部の復活までいろいろとサポートしていただきありがとうございました。

年度の後半にはいると、またしてもオミクロン株に振り回されることとなり、市内8クラブ新年合同例会に始まり、創立記念夜間例会、県北第1分区インターシティミーティング、新会員オリエンテーションなど、いろいろな行事で規模縮小せざるを得ない結果となってしまいました。その中でも、観桜夜間例会や分区行事のパークゴルフ大会、ゴルフ大会と感染対策をしながら楽しめたこともありましたが、パークゴルフなどは初めてでしたが、これを機会に、お孫さんとプレーをしたという会員の方もいらっしゃるようです。そして、年度最後の6月になって、庄司強志会員と梅津誠一会員の2名を新たに会員として迎え入れることができ、少しだけほっとしています。7月から数名の入会が予定されているということで、新会員には少しずつロータリーのことを覚えていただき、他の会員との交流を深めていただきたい。何と言っても黒澤信之会員増強委員長と寺島英樹青少年奉仕委員長には感謝いたします。また、昨年から2年間久し振りに米山記念奨学会生として、ベトナムからレティトゥハーさん迎え入れることができました。カウンセラーを引き受けていただいている大平会員にはとても感謝しています。

さて、例会場とZoomでのハイブリッド例会をするようになってから、会社の都合などで参加できない方を除き、Zoomでできるだけ例会に参加してくれる会員が数名いらっしゃるようになり、例会場にきていただけないのは残念ですが、例会運営としては、少し進歩があったのかなと思います。これからもできるだけ参加しやすい例会運営の形を考えたいと思います。「参加しよう！例会に」と掲げたテーマに少しだけ近づけたのではないのでしょうか。また、マイロータリーの登録率向上も事務局の小澤さんのおかげで86.96%までになりました。あと少しです。新会員にも丁寧に説明をして100%を目指しましょう。会員増強も毎年のテーマではありますが、これからはますます各クラブによる会員の奪い合いになると思います。まずは当クラブがやってきたこれまで以上に会員を減らさないことを徹底して、少しずつ会員を増やしていきたいです。

最後に、私自身人前でしゃべることが苦手で、筋道を立てて話をする構成力がなく、指導力もない中で、1年間会長の重責を任されました。会社の都合がある中で無理やりに幹事を引き受けてくれた相澤さんには、常に的確なアドバイスをいただき、私の考えを尊重してくれました。相澤さん本当にありがとうございました。また、今年度は当クラブより佐藤宗弘会員がガバナー補佐として活躍され、私もいろいろ的確な指示やアドバイスをもらい、ロータリーに関する知識も少しだけ深まり、1年間乗り切るうえでとても助かりました。佐藤宗弘ガバナー補佐本当にありがとうございました。事務局の小澤さん、1年間無理なことばかりお願いして申し訳ありませんでした。本当にありがとうございました。

7月から新年度となりますが、withコロナの中で高梨会長のおかれた状況は大きく変わるものではありません。ただ、この1年間の会長としての経験を少しでも活かして、今度は幹事として、高梨会長を助け、支えて、ますます福島西ロータリークラブを盛り上げていきたいと思っています。すべての会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。本当に1年間ありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘
※会報カメラ担当

高橋智弘会長
宮崎秀剛副会長